

第1期保健事業実施計画(データヘルス計画)の評価及び次年度に向けた対策

参考資料1

上位目標		群馬																														支部			
生活習慣病予防健診受診者（40歳以上）の血圧リスクが低下する。 42.7%→40.0%（29年度末）																																			
下位目標	具体策	活動内容	プロセス						ストラクチャー						アウトプット						アウトカム						成功要因・阻害要因		今後の対策	第1期評価 （下位目標）					
			評価計画		評価結果				評価計画		評価結果				評価計画		評価結果				評価計画		評価結果				成功要因	阻害要因							
			評価項目	評価指標	目標値	評価手段	27	28	29	時期・内容・対象者の声・進捗管理等	評価項目	評価指標	目標値	評価手段	27	28	29	予算・人員体制等	評価項目	評価指標	目標値	評価手段	27	28	29	評価項目	評価指標	目標値	評価手段	27	28	29			
加入者及び事業主が群馬の健康課題を理解するようになる	プレゼン	健康保険委員研修の際に説明するスライドを作成し、県内5会場にて実施し、参加者にアンケート調査を実施する	・スライドの内容 ・開催時期・規模	・群馬の特徴を見る化でき、対策も伝えているか ・第1期初年度中の実施か ・各年金事務所管内での実施	・血圧リスクを見える化している ・運動など対策を伝える ・9月実施 ・県内5会場	スライド及び配布資料等研修実施状況	○			予定通り、27年度9月以内県内5会場においてプレゼンを実施し、健康課題と対策を伝えた	・実施体制 ・会場選択及び協力先との連携	・担当職員数及び職種が適切か ・年金事務所との調整ができたか		研修実施状況	○			実施についての分担が計画通りできた	プレゼン実施量	プレゼン回数/参加者数	5回/250名	研修アンケート	○			理解度向上	プレゼン前後のアンケートで、健康課題についての正解数が増すか	正解数が増す	プレゼン前後に参加者にアンケート調査を実施し、正解数を比べる	○			元々定例化していた委員研修会においてプレゼンを実施したため、会場設定や開催時期などがスムーズだった	プレゼン後のアンケート回収率が低かった。質問内容が同じアンケートを用いたことが要因と考える。歳首説明が不足していた可能性がある	アンケート調査では、内容・回収手段等を十分検討し、対象者への趣旨説明にも注意をすること
	トップセールス	メタバ率・血圧リスクの高い業種について、業種団体に対しトップセールスをを行い、事業に対する協力を求める	セールス対象団体の設定	課題の多い業種団体を設定したか	2団体組織	トップセールス実施状況	○			加入者が多く、血圧リスクが高く医療費も高い、運輸・建設業に対するトップセールスを実施できた。特に運輸で3団体実施できた	・実施体制 ・アポ取り等調整	・担当職員数及び職種が適切か ・他機関との連携で調整できたか		トップセールス実施状況	○			2業種4団体に対し実施し、チラシ配布等の協力を得られた	トップセールス実施数	業種数/団体組織数	2業種/4団体組織	トップセールス実施状況	○									健康づくり推進協議会委員の協力により、トップセールス先の選定等がスムーズであった			
	広報用チラシ	群馬の健康課題と対策を伝えるためのチラシを作成する	・チラシの掲載内容 ・作成時期	・健康課題と対策を説明できるものか ・作成時期が適切か	・健康課題と対策を分かりやすく説明する ・27年度上期に作成する	作成状況	○	○		27年度初めに作成し、健康課題と対策について、イラスト等を用いて説明した。28年度版で健康経営を追加し宣言を促す内容に改善している	・実施体制 ・予算	・担当グループが適切か ・予算確保できたか		作成状況	○	○		データヘルス計画作成グループが作成したことで説明内容を十分反映させられた。またイベント等を通じて在庫管理や健康経営推進を機に、改善版の作成を計画し、予算確保できた	作成数	チラシ作成数	27年度6000部 28年度6000部	作成数	○	○							データヘルス計画を集約する内容について、企画総務部内でアイデアを出し合い作成することになった。また、健康経営の推進とともに内容を改善することもできた。		第2期においても、この経験を生かし、効果的なツールを作成していきたい		
	イベント出展による広報用チラシ等の配布および説明	関係団体とイベント会場にてブースを出展し群馬の健康課題を説明するとともに、健診・保健指導等の重要性への認識も促す	出展内容	出展内容が適切か	血圧対策の取扱	実施状況	○	○	○	広報用チラシを活用して群馬の健康課題を説明するとともに、血圧対策として運動や減塩をテーマに運動・健診・保健指導等の重要性への認識を促せた	・実施体制 ・会場選択及び協力先との連携 ・予算	・担当職員数及び職種が適切か ・会場・協力先との調整ができたか ・予算確保できたか		参加者数	○	○		第1期中、年間を通して、連携先の自治体と一緒に連携でき、県内各地で開催できた。また毎年同時期に開催するため、企画総務部内で分担し、進捗管理しやすかった。予算確保した中で実施できた	イベント実施量	イベント出展回数/参加者数	・27年度3回/500名 ・28年度3回/450名 ・29年度6回/500名 合計20回/1260名	回数・参加人数	○	○	○										
	自治体及び関係機関・団体と連携した広報	27年度：県トラック協会、建設業協会、バス協会、バス事業協同組合を通じてのチラシ配布	依頼先の選定及び依頼手段	・選定団体が適切か ・依頼手段が適切か	・運輸業及び建設業 ・トップセールスによる協力依頼	・協力団体種類 ・協力団体数	○			実施状況	トップセールス先との調整	トップセールス先との調整	トップセールスの際に依頼すること	実施状況	○				4団体のトップセールス時に、協力してもらいたい内容を絞っておき、依頼したところ、各団体を通じて会員等にチラシ配布が実現した	チラシ配布	2団体を通じての配布	2団体配布数未設定	団体数/配布数	○								健康づくり推進委員からの紹介により、トップセールス先が予定より多く、チラシ配布も2152部と多かった			
	自治体及び関係機関・団体と連携した広報	28年度：前橋市との連携ポスター（高血圧対策の運動推奨） 29年度：前橋市との連携ポスター（高血圧対策としての減塩対策）	掲載内容	ポスターの内容が適切か	健康課題と対策を扱っていること	ポスター作成	○	○	○	高血圧対策として、運動・減塩をテーマに作成できた	前橋市との分担体制	・作成分担が適切か ・予算分担が適切か ・掲示の分担が適切か		掲示状況		○	○		協会・運動推奨減、前橋市・減塩対策をそれぞれ分担し、掲示についても分担し、その後集約	ポスター掲示数	協会及び前橋市との分担掲示数及び配布数の合計	未設定	協会掲示数に前橋市からの申告数を加える	○	○	○						・連携ポスター作成は計画外であったが、前橋市の提案で追加された。作成・掲示を分担したため連続で取り組むことができた。 ・トラック協会の協力で、全会員に配布できた			
	自治体及び関係機関・団体と連携した広報	県トラック協会広報誌への記事掲載	掲載内容	記事内容が適切か	・群馬の健康課題に加え、業界の健康課題を掲載できたか ・対策についても掲載できたか	記事内容	○	○	○	広報誌への記事掲載、年1回運輸業界の健康課題から開始、28年度に健康経営、29年度に血圧対策で運動・減塩を取扱い、健康サポートの紹介と3回連続掲載まで拡大できた	トラック協会との調整	トラック協会との調整	トラック協会担当者との相談で進める	トラック協会担当者との調整による掲載	○	○	○	担当者との調整で年1回以上の掲載を行った。トラック協会の予算での出版であるため、記事掲載の費用負担なし	ポスター掲示数	ポスター配布先	2500枚	配布数	○	○	○						○				
保健師等による広報用チラシ及び健康事業所宣言資料の配布と説明	保健指導訪問時に、保健師等がチラシ配布及び説明、改善版からは健康経営への参加も促した。	3年間継続した広報	・配布を継続できているか ・説明が継続できているか	3年間継続した広報	配布状況報告	○	○	○	初年度より配布を開始し最終年度まで継続でき、配布状況を集計できた	3年間継続した配布体制	配布体制が適切か	3年間訪問担当者が配布・説明する	配布状況報告	○	○		事業所訪問担当者が配布・説明し続けることができた	チラシ配布数	チラシ配布数	27年度700部 28年度700部 29年度2500部	配布状況報告	○	○	○								・広報チラシを配布することが業務の一部として定着した。 ・保健師等研修で、データヘルス計画・健康経営等を情報共有し、事業所への説明がスムーズになった		第1期の経験を第2期に生かしたい	
健康事業所宣言事業所を増やす	・保健指導時にチラシ説明と共に勧誘 ・被保険者20名以上の事業所に案内送付	案内方法	案内方法が適切か	訪問・郵送により勧誘	エントリー状況	△	△	△	宣言事業所200社を目標に勧誘できた	実施体制	実施体制が適切か	企画・保健協力で	エントリー状況	△	△	△	企画・保健グループで協力して勧誘できた	宣言事業所数	宣言事業所数	28年度200社 29年度300社	エントリー状況	△	△	△								・保健師等による訪問先での地道な営業がエントリーにつながり、生命保険会社等との連携により、健康経営推進力が増した			
	慢性腎臓病のための特定保健指導者の展開	初回面接ツールの改善 慢性腎臓病予防を踏まえたメタバ指導の徹底	ツール内容 3年間継続した活用	腎機能が説明に適切か 活用が適切か	腎機能確認表を掲載しているか 3年間初回面接で必ず活用	ツール掲載内容 保健師等に配布し旧資料と差替え	○ ○	○ ○	○ ○	メタバと腎臓病の説明が同時にできる資料を作成できた ツール作成後旧ツールと全差替えでき、3年継続して活用中	・作成体制 ・予算 3年間継続した実施体制	・作成担当は適切か ・予算確保できたか 実施体制は適切か	・保健グループが作成 ・予算内で作成 全保健師・管理栄養士が3年間継続して実施、差替え	作成状況 保健指導者全員にツール配布、差替え	○ ○	○ ○	○ ○	予算内で保健グループが作成できた 3年間継続して徹底できた	初回ツールを改善できたか 特定保健指導対象者への活用	初回ツールを改善できたか 初回面接時の配布数	ツールの改善 ツール切替後全対象者に活用	新ツールの作成 初回件数	○ ○	○ ○	○ ○										

第1期保健事業実施計画(データヘルス計画)の評価及び次年度に向けた対策

参考資料1

上位目標		生活習慣病予防健診受診者(40歳以上)の血圧リスクが低下する。 42.7%→40.0%(29年度末)										群馬										支部																
下位目標	具体策	活動内容	プロセス								ストラクチャー								アウトプット								アウトカム								成功要因・阻害要因		今後の対策	第1期評価 (下位目標)
			評価計画				評価結果 ⑧1				評価計画				評価結果 ⑧1				評価計画				評価結果 ⑧1				成功要因	阻害要因										
			評価項目	評価指標	目標値	評価手段	27	28	29	時期・内容・対象者の声・進捗管理等	評価項目	評価指標	目標値	評価手段	27	28	29	予算・人員体制等	評価項目	評価指標	目標値	評価手段	27	28	29	評価項目			評価指標	目標値	評価手段	27	28	29				
加入者及び事業主が健康づくり対策を実施するようになる	・健康事業所宣言事業所向け健康づくり応援事業 ①健康情報提供(事業所統計、事業所カルテ等)	・26年度に特定保健指導を実施した事業所のうち被保険者100名以上の事業所全てに事業所カルテを提供 ・29年11月御社の健康状況を作成、12月カルテ提供再開	情報提供手順	・提供資料は適切か ・提供資料は提供可能か ・提供対象は適切か	事業所カルテ及び事業所統計を提供 27年度:26年度に指導を実施した100名以上の事業所に提供 28・29年度:宣言事業所全てに提供する	カルテ提供件数	△	×	△	事業所カルテは支部にて作成可能だが、事業所統計はシステムから作成できる資料の質が悪く提供できなかった。その後事業所統計を元に「御社の健康状況」を作成できるようシート作成した	実施体制	担当職員数は適切か	保健師2名で担当	実施状況	△	×	△	27年度は事業所カルテのみを対象事業所に提供。健康事業所宣言事業開始後、提供対象事業所を変更。28年度は本部からのカルテ提供の遅れもあり、提供を見送った。事業所統計はシステム改善として要望したが、支部独自の作成用シートを作り、営業等の際に提供を再開している	情報提供数	情報提供数	27年度:26年度指導実施事業所のうち被保険者100名以上の事業所全て 28・29年度:エントリー事業所全て	カルテ提供件数	△	×	△								・本部から提供される事業所カルテが年々遅れた ・システムから作成される統計資料は不具合のためそのまま活用できず、改善要望している	第2期においても、御社の健康状況は健康経営支援ツールとして活用していきたい				
	②簡易血液検査による健診実施と情報収集	エントリー事業所向けの特典として若年者向け簡易血液検査による健診を実施し、健診結果等の情報収集を行う	・実施対象 ・実施手順	・実施対象が適切か ・実施手順が適切か	・エントリー事業所の35歳未満の被保険者のうち希望者 ・エントリー事業所を通じて案内しネット申込により実施	申込状況			△	計画通り実施できたが申込が少なかった	・実施体制 ・予算	・実施体制が適切か ・予算内で実施できたか	・企画グループが実施 ・予算内で実施	実施状況			△	企画グループが企画し、予算内に実施できた	実施数	実施目標に達したか	実施目標500件	実施報告			△								エントリー事業所の多くは、事業者健診の取組がしっかりしており、簡易血液検査の需要が少なかった					
	③健康づくり取組チェック	取組チェック未策定	チェック内容	チェック内容が適切か	・取組状況の確認ができること ・優良法人認定の申請項目が含まれること	チェック項目	×	×	×	取組チェック未策定	・作成体制 ・実施体制	・作成体制が適切か ・実施体制が適切か	28年度内に作成し、前年度エントリー事業所から実施する	チェック実施状況	×	×	×	取組チェック未策定	・取組チェック作成 ・取組チェック実施数	・取組チェックは完成したか ・取組チェック実施が適切か	・28年度内にチェック完成 ・28年度から年1回実施する	・作成状況 ・実施状況		×	×											B.目標値に達していないが改善傾向にある		
	④事業所セミナー講師派遣	エントリー時セミナー講師事業案内を送付し利用助奨	・実施準備 ・実施手順	・セミナー資料が作成できたか ・実施手順が適切か	・資料作成 ・エントリー事業所に案内し申込により実施	・資料作成状況 ・申込状況	△	△	△	27年度セミナー資料を作成し講師派遣開始	・実施体制 ・自治体等との連携	・実施体制が適切か ・自治体等との連携があるか	・支部所属専門職が担当する ・県等と連携する	実施状況	△	△	△	支部所属専門職が担当し、要望により連携して派遣できた	セミナー実施数	セミナー実施数	27年度未設定 28年度20社/500名 29年度20社/500名	実施状況	△	△	△								・管理栄養士の採用により、栄養指導の強化ができた ・セミナー申込を機にエントリーする事業所もあった	PR不足のため、実施数が伸びなかった				
	⑤健康事業所宣言事業所表彰基準の策定	取組チェックを元に、優秀な取組事業所を表彰する基準を策定する	基準内容	基準が適切か	取組状況及び変化を段階的に評価すること	基準策定内容	×	×	×	表彰基準未策定	策定体制	策定体制が適切か	保健グループが原案を策定し企画総務部で協議する	基準策定結果	×	×	×	表彰基準未策定	策定できたか	策定できたか	基準の策定	策定状況	×	×								経産省の優良法人認定制度への対応を優先した	健康経営推進のため、基準策定は第2期早期のうちに実現しなければならない					
	⑥健康経営優良法人認定	健康経営優良法人認定のための申請をサポートする	サポート手順	・申請のための情報収集が適切か ・申請希望事業所に確保が適切か	申請のための情報を希望事業所に提供する	申請状況		○	○	2017に8社申請し4社認定、その後追加認定で4社認定。2018では大規模法人1社、中小規模法人9社が認定された	サポート体制	サポート体制が適切か	企画グループを主にサポート	申請状況		○	○	2018:大規模法人1社、中小規模法人9社	認定数	認定数	年10件程度	認定状況		○	○								2017申請サポートの知見をその後のサポートに生かした					
	⑦特定保健指導優良事業所表彰	実施要領に基づき、保健師等からの推薦を基に事業所を選定し、訪問による表彰実施、ホームページや群馬だより等による広報を実施する	実施手順	・実施時期が適切か ・実施要領に基づいて行えたか	・年内に表彰実施 ・推薦状況 ・選定状況 ・表彰状況		○	○	○	実施要領に基づいて年内に表彰できた	・実施体制 ・予算	・実施体制が適切か ・予算内で実施できたか	選定委員会にて選定し、予算内で実施	表彰状況	○	○	○	実施要領通り選定、表彰できた	表彰事業所数	表彰事業所数	年10社程度	表彰件数	○	○	○										事業所表彰での知見を第2期の表彰制度に生かしたい			
	外部委託機関での指導実施件数を増やす	健診機関や保健指導専門機関等と特定保健指導業務を委託し実施を増やす	・契約時期 ・契約内容	・契約時期が適切か ・契約内容が適切か	・29年度当初に契約 ・訪問型の契約	契約状況	△	○	○	28年度1事業所、29年度から2健診機関及び1専門業者と契約した	予算	予算確保できたか	予算確保できた	支部予算計画等において予算確保できた	△	○	○	事業所との契約は特に予算計画での実施予測を行い確保した	契約機関数	契約機関数	・契約健診機関を増やす ・29年度から専門業者1社と契約	契約状況	△	○	○								健診事務説明会の際に、特定保健指導対象者数から見積書を作成し、全健診機関に配布し、契約を促した					
	特定保健指導合同スキルアップ研修会	健診機関等の保健指導担当者を招き、スキルアップと情報交換を実施。 27年度ウォーキング実技研修 28年度慢性腎臓病予防 29年度問題解決思考のアプローチ	開催内容	・開催時期は適切か ・研修テーマは適切か	・健診開散期の開催 ・参加者の要望を踏まえた研修テーマ	参加者アンケート		○	○	○	初年度は開催前に、参加予定者に要望を聞いてから開催し、2年目以降はアンケート結果を参考に開催した	・実施体制 ・予算	・実施体制が適切か ・予算内で開催できたか	・支部保健師を中心に保健グループが実施する ・予算内で開催する	参加者アンケート	○	○	○	研修開散期の1月に予算内で開催できた	・事業実施量 ・参加状況	・開催頻度 ・外部参加者数 ・外部機関数	・年1回 ・27年度未設定 28年度20名/12機関 29年度20名/14機関	参加申込及び参加者アンケート	○	○	○							・アンケート結果を元に企画することで、年々参加者が増えた ・特定保健指導委託機関拡大に向けて勧奨することが、合同研修への参加者を増やすことにもつながった。					
	健康づくり事業所宣言事業所に対する活動量計を用いた活動量調査及び運動習慣改善支援の提供	活動量計100台を購入して、宣言事業所に無料で貸出。その後参加者ごとにレポートを作成しアドバイスする。	調査手段	調査手段が適切か	エントリー事業所に案内し申込により実施	調査実施状況		○	○	○	28年度から開始	・実施体制 ・予算	・実施体制が適切か ・予算内で実施できるか	保健師2名で担当、活動量計100台で対応	実施状況		○	○	内動保健師2名で対応した	調査実施量	実施事業所数/参加者数	28・29年度50社/500名	活動量計貸出簿にて実施状況を確認	△	△							エントリー後の電話による確認連絡で必ず、活動量計貸出をPRLした	PR不足で調査数が伸びなかった	第2期では、健康経営の推進を目的に取組に関する支援が重要となる。活動量計の活用も増やしていきたい。				
	特定保健指導対象者の運動習慣調査	26年度の特定保健指導対象者の運動習慣及び一日の歩数を調査し、27年度との健診結果の変化や運動習慣の改善状況を分析する	調査対象	調査対象が確保できたか	運動習慣・歩数が確認できた者全員	調査対象者一覧	△	×	×	×	システム刷新により調査データが消失されたため、調査中止となる	実施体制	実施体制が適切か	保健師2名で実施	実施状況	△	×	×	刷新により、旧システムのデータはほとんど消失され、復活させるマンパワーはなかった	実施数	実施数	運動習慣を把握できた対象者全員を調査	調査対象者一覧表にて確認	△	×	×	定期的に運動する者の割合	定期的に運動する者の割合	指導翌年度、定期的に運動する者の割合が増える	集計表	×	×	×					
	活動量調査分析	調査翌年も調査を行い、運動習慣改善等分析を行う	調査手順	調査手順が適切か	特定保健指導と並行して調査	初回時と3ヶ月時の2回調査を実施できた			○	○	2社につき、特定保健師2名で並行して調査を実施中	実施体制	実施体制が適切か	内動保健師2名で担当	実施状況			○	2社につき、内動保健師2名で対応中	調査実施量	調査実施量	2社50名	調査件数			△	調査翌年の活動量	調査翌年の活動量	調査翌年の活動量が増える	集計表								

第1期保健事業実施計画(データヘルス計画)の評価及び次年度に向けた対策

参考資料1

上位目標	生活習慣病予防健診受診者(40歳以上)の血圧リスクが低下する。 42.7%→40.0%(29年度末)
------	---

群馬 支部

下位目標	具体策	活動内容	プロセス									ストラクチャー									アウトプット									アウトカム									成功要因・阻害要因		今後の対策	第1期評価 (下位目標)
			評価計画				評価結果 ※1					評価計画				評価結果 ※1					評価計画				評価結果 ※1					成功要因	阻害要因											
			評価項目	評価指標	目標値	評価手段	27	28	29	時期・内容・対象者の声・進捗管理等	評価項目	評価指標	目標値	評価手段	27	28	29	予算・人員体制等	評価項目	評価指標	目標値	評価手段	27	28	29	評価項目	評価指標	目標値	評価手段			27	28	29								
加入者の身体活動量が増える	運動セミナー開催	前橋市・群馬県社会保険協会・県スポーツ協会等との共催で開催する	開催内容	・開催時期が適切か ・会場設定が適切か ・開催内容が適切か	・運動に適した季節 ・運動できる環境であること ・健康課題を伝え運動習慣改善をテーマにしていること	開催状況	○	○	○	寒い時期は参加者が集まらない、6月開催が適当。データヘルスチラシを配布して説明を実施。また歩き方教室も実施しウォーキング実践を促した。	・実施体制 ・連携体制 ・予算	・実施体制が適切か ・関係機関と連携しているか ・予算内で実施できたか	・企画総務部で担当 ・自治体、関係機関と連携して開催 ・予算内で実施	実施状況	○	○	○	共催団体から人手・器材等の提供も要請、予算内で実施できた確保	・開催頻度 ・開催数・参加者数	・開催頻度 ・開催数・参加者数	27年度：年1回/400名 28年度：年2回/400名 29年度：年1回/400名	実施状況	△	△	△	1				・関係機関との連携で、安定した運動セミナー開催につながった。 ・健康づくり特典協賛企業を会場として利用することで、施設側の協力を得やすかった。 ・加入者が参加しやすい休日に実施したことで参加数が伸びた。 ・任意継続加入者に対しても案内を行い、受け入れの幅を広げた。 ・セミナー前後で血圧測定や動脈硬化モデル・塩味の味覚チェック等を行い、より健康課題を身近に感じてもらえるようにした。	運動セミナーでの知見を第2期での開催に生かしたい		B.目標値に達していないが改善傾向にある									
要治療者が受診する	二次勧奨実施	二次勧奨の徹底(電話・文書、特定保健指導支援期間中の方は担当保健師等から勧奨)	実施手順	実施手順が適切か	実施計画に即して実施	勧奨件数	○	○	○	実施計画に即して実施。本部からの通知発送後回答書交付後随時実施できた	実施体制	実施体制が適切か	内勤保健師2名で実施	勧奨件数	○	○	○	対象者全員に送付	勧奨件数	勧奨件数	対象者全員	勧奨件数	○	○	○	勧奨後の医療機関受診状況	勧奨後3ヶ月間の医療機関受診率	12%	本部提供資料	○	△	△	・28年度健診分より、対象者を35歳以上に拡大した。 ・勧奨通知のデザインを改善し、より警告性の強いものに変えた。 ・回答書の提出率が低下していることから、事業所への面接を開始し、指導機会の拡大を図ってきた。 ・回答書の提出のない方への再勧奨文書に、専用パンフレットを同封することで、受診を後押しした。 ・対象者の自宅宛に送付し、未着となった分の勧奨通知を、封入し直して(親展)から事業所にまとめて送付し、担当者から配布いただくことにより、対象者にはもれなく通知が届くように改善した。 ・医師会や専門医との、3年間にわたる相談・打ち合わせが積み重なり、連携が強まっている。			B.目標値に達していないが改善傾向にある						
	訪問による二次勧奨を開始する	二次勧奨の徹底(回答書提出のない対象者への面接による勧奨)	実施対象	実施対象が適切か	回答書提出のない対象者が複数いる事業所に訪問案内	勧奨件数/実施件数			○	29年度から開始中	実施体制	実施体制が適切か	内勤保健師1名で実施	訪問案内件数/面接件数	○	○	○	29年度から訪問案内開始	勧奨開始するか	勧奨を開始できたか	訪問案内及び面接開始	訪問案内件数及び面接件数	○	○	○																	
	未着分の事業所への送付	回答書未提出者への再勧奨(文書)実施。専用パンフレット活用による勧奨強化	実施対象	実施対象が適切か	未着分のうち資格ある方全員	発送件数	○	○	○	第1期合計面接1071件	実施体制	実施体制が適切か	内勤保健師2名で実施	送付件数	○	○	○	対象者全員に送付	送付件数	送付件数	対象者全員	送付状況	○	○	○																	
	回答書未提出者への再勧奨	・回答書未提出者への再勧奨(文書)実施。専用パンフレット活用による勧奨強化	実施対象	再勧奨	対象者全員	発送件数	○	○	○	第1期合計794件	実施体制	実施体制が適切か	内勤保健師2名で実施	送付件数	○	○	○	対象者全員に再勧奨	送付件数	送付件数	対象者全員	送付状況	○	○	○																	
	勧奨後の医療機関受診状況	・二次勧奨実施後、対象者が医療機関を受診しやすくなるための連携体制をつくるために、関係団体の協力を得て検討を進める	情報収集	情報収集	専門医のいる医療機関情報を得る	専門医療機関情報収集状況	○	○	○	県医師会との連携で、検索ツールとホームページ上でリンク。また検索結果から専門医一覧表を作成。県医師会の協力で活用開始した	実施体制	実施体制が適切か	内勤保健師2名で実施	受診勧奨実施状況	○	○	○	二次勧奨実施後、対象者が医療機関を受診しやすくなるための連携体制をつくるために、関係団体の協力を得て検討を進める	専門医情報提供資料作成	専門医情報提供資料作成	資料作成	専門医療機関一覧表	△	△	○																	

※1： 年度ごとに「○(できた)、△(一部できた)、×(できなかった)」を評価する。

(下記の5段階より選択)

- A.目標値に達した
- B.目標値に達していないが改善傾向にある
- C.変わらない
- D.悪化している
- E.評価困難